この人に聞く

小島ひろ美さん

ライフスタイルコーディネーター

女性が求めているのは、ストレスを感じない住まい環境だと思います。

今号は、「女性のための快適住まいづくり研究会」の代表を務める、ライフスタイルコーディネーターの小島ひろ美さんに、「女性が求める快適な住まい」について伺いました。

――「女性のための快適住まいづくり研究会」とはどのような会ですか？

研究会が発足して今年で15年になります。主な活動にはマンションの購入を考えている女性を対象にした「講座の開催」「コンサルティング」「女性会員の要望や意見を集めて、デベロッパーにフィードバックし、マンションの企画・設計を提案する業務」の3つがあります。

この会を作った理由は、独身時代に遡ります。ある専門学校の講師をしていた時に、受講生の女性たちとの話の中で、私が自分の買ったマンションに住んでいるといいましたら、彼女たちが一斉に「え？どうすれば買えるの？」って聞くんです。確かに不動産、建築、工務店というのは男性の世界で、当時はまだ一般的には怖そうなイメージが付いて回っていたと思うんですね。

それと女性が欲しいと思うような住まいが少なかったとも思います。ですからなんとか女性たちと建築・不動産業界との橋渡しをするお伝いができないものかという思いから、この「女性のための快適住まいづくり研究会」がスタートしたんです。今では4万人以上の方々が会員として登録しています。その約8割が独身女性ですが、この方たちは一生独身でいたいというわけではなく、結婚をし、できれば子どもも生みたいと考えている人たちです。

――女性が求めている住まいの条件はありますか？

まず、ストレスを感じない室内環境があることです。特に毎日繰り返される生活動線がスムーズでないと、気がつかないうちにストレスが積み重ねられていきます。お料理にしても、掃除にしても、3分かかることを1分でできれば、三分の一短縮することができ、ストレスを感じることは少ないと思います。そのためには、部屋の間取りや設備仕様が動きやすく使い勝手の良いものになっていることが必要だと思います。

ストレスを感じない生活環境が女性が心から求めているものだと思います。

特に働いている女性たちは、毎日の生活の中で、家事の時間を効率的に使って、別のことに時間を割きたいと考えています。女性たちにも家事や子育て以外に、仕事・趣味……、自分のやりたいことはたくさんあると思うのです。

私の住まいでは、洗面化粧室に整理だんす代わりのリネン庫を設けているのですが、これがとても使いやすいんです。洗濯ものを外に干したり、浴室乾燥機を使ったりしたときに、取り込んでたたんでからすぐにリネン庫に収納すれば、個別の部屋に収納するよりも時間は少なくて済みますし、お風呂上がりの着がえに家族が自分のことを自分でできるようになりましたね。この体験から、最近企画しているマンションでも洗面化粧室にリネン庫を設けてみたのですが、これが女性にとても好評なんです。

家を建てるときに、ほとんどの女性が「収納場所をたくさん作ってください」とオーダーすると思うんです。でも収納といっても、ハンカチなどの小物を入れるためのものなのか、洋服類をしまうためのものなのかによって、奥行きも幅も棚の高さも違ってきます。

また、毎日使うのか、一年に一度使うものをしまうのかによって、設置する場所も変わってくると思います。

たとえばハンカチなどの小物を入れるとき、50センチも奥行きがあると、逆に使いづらいわけです。また、薬箱などのように毎日使わなくても、いざというときに必要なものは、誰もがすぐに取り出せる場所においておく必要があります。

また女性たちは設備機器にも関心を持っています。ミストサウナなども、自分のライフスタイルの中で上手に使いこなしています。キッチンについては、最近オール電化マンションを購入した方がいるのですが、全体としては満足しているそうですが、キッチンだけは、IHだとあまり料理をした気がしないので、ガスが良かったとおっしゃっていました。

とにかく、何でもあれば良いのではなく、何のために必要なのかを考えて住まいの提案をしていかなければいけないと思います。

――「女性のための快適住まいづくり研究会」のこれからについてお聞かせください

これからも、女性が安全で快適な住まいを手に入れることができるようなお手伝いをしていきたいと考えています。そのためにも、会員の方たちの貴重な声をフィードバックできる場をたくさんつくっていきたいと思います。

こじま・ひろみ
1957年福岡県生まれ。関西学院大学商学部卒。ライフスタイルコーディネーター、宅地建物取引主任者。「女性のためのかしこいマンション購入術講座」を開催し、今までに4万人以上の女性たちに講演を行いながら、マンション購入に関するさまざまな相談を受けている。また、「女性が生涯にわたって安全で楽しく、快適に暮らしていく」ことをモットーに一級建築士、インテリアコーディネーター等の専門家と情報交換しながら、より快適な住まいづくりをデベロッパーや建設会社、設計事務所等に企画提案を行っている。